ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			1/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

関係各部署 御中

To departments concerned

Confidential level

PROTECTED 関係者外級 原紙保管
Storage of original
コピー保管
Storage of copy

		1				
		制御電子フ	プラットフォ	ーム開発部		
		制御ネットワーク・アーキ開発室 4G				
 ECIJ 侵	・ ・ ・ ・ 入テスト 仕様書	E/E Architecture Development Div				
_	on of Penetration Testing	System netv	work & archit	ecture develo	pment dept 4G	
rest specification	No. SEC-e	PF-VUL-EF	N-TST-SPE	C-a00-04-a		
	承認 Approved	_	_	2021/05/31		
		河井	松井	玉樹		
適用	19PF Ver.2 以降のエントリス	ポイントを有 ^っ	する ECUに	適用する。		
Scope	Applies to ECUs that have an en	ntry point in 19	9PF Ver2 and	later.		
変更内容	【主な変更点 Main changes】			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~		
Revision Record	(SEC-err-vol-ern-151-srec-a00-03-a → Sec-err-vol-ern-151-srec-a00-04-a)				-SPEC-a00-04-a)	
110,101011 110001 01	,					
	【入手先 Source】					
	本文書は iSpirit からダウ					
	This document can be dow		•			
	[Folder]/Repository/Elec		-	ity[サイバーも	zキュリティ]/Standard	
	[標準]/SPEC[仕様書]/VUL[脆弱性]/仕様書 ALL					
	必要に応じて、関係会社・関係部署(海外事業体、ボデーメーカ、ECU サプライヤ)への					
	展開をお願いします。					
特記	Please distribute this document to affiliated companies, or departments (e.g. overseas					
Special note	business entities, car body	manufacturers	s, or ECU supp	oliers) if necess	sary.	
	【問会共生 Contact Informatio	.n1				
【問合せ先 Contact Information】 制御電子プラットフォーム開発部 制御ネットワーク・アーキ開発室						
セキュリティ仕様問合せ窓口 E/E Architecture Development Div System network & architec			& architecture	develonment dent		
	Contact for security inquir	•	Com network	2 architecture	ac veropment dept	
	, .					
	Mail:epf-sec-sp@mega.tec.toyota.co.jp					

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			2/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

変更履歴△1

記号	Version	日付	変更者	項目	変更内容
	a00-00-a	2018/6/30	51F 尾崎	全項目	
Δ1	a00-01-a	2018/11/6	51F 尾崎	変更履歴	変更履歴の表を追加
1	↑	\uparrow	\uparrow	3. 用語の定義	"エントリポイント"の定義を上位文書の
					記載に統一
1	\uparrow	\uparrow	\uparrow	6. 侵入テスト	・実施者についての備考「外部組織ヘテス
				要件	トを委託してもよい」を要件に変更
					・テスト内容の要件を変更
1	↑	\uparrow	\uparrow	参考資料1	・テストケースの名称を内容が分かりやす
					いように更新
					・重複していたテストケースの削除(「ダイ
					アグ機能の OSS 脆弱性によるコマンドイン
					ジェクション」「ネットワーク経路による攻
					撃:ARP ポイズニング」)
\uparrow	\uparrow	\uparrow	↑	全項目	その他の誤記修正
$\Delta 2$	a00-02-a	2019/4/26	46F 尾崎	1.1. 本書の目的	開発プロセスの手順に沿うように修正
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.2. 適用範囲	・表1を追加して対象 ECU の条件を設定
					・設計変更における考え方を変更
1	\uparrow	\uparrow	↑	1.3. 関連文書	・関連文書一覧の表を追加
					・公的関連文書一覧の表に『SP 800-115』
					『WP29』『個人情報保護法』を追加
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.4. 用語の定義	・"エントリポイント"の定義を上位文書の
					記載に統一
					・"エントリポイント"以外の用語を追加
1	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.5. 関係者の定	新規追加
				義	
1	\uparrow	\uparrow	<u> </u>	2. 侵入テスト	・テスト全体の進め方の見直しに沿って表
				要件	5の内容を修正
					・表6を追加
1	1	↑	↑	Appendix 1	章と表の名前を変更
1	1	\uparrow	↑	Appendix 2, 3	新規追加
1	\uparrow	\uparrow	<u> </u>	全項目	・章立てを変更
					・その他の軽微な修正

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			3/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Δ3	a00-03-a	2020/6/23	46F 松井	1.1. 目的	・"リスク許容のできない"脆弱性が存在し
					ないことを確認する
					という表現へ目的を変更
\uparrow	1	\uparrow	↑	1.2. 適用範囲	・1.2.2.項に"Post19PF 以降の適用範囲"
					を追加
					・1.2.3.項に"設計変更における再実施"を
					追加
↑	1	\uparrow	↑	1.3. 関連文書	関連文書に以下を追加
					・19 電子 PF LAN 情報セキュリティ対策要
					件書
					· ISO/SAE 21434
1	1	\uparrow	\uparrow	1.4. 用語の定義	用語の定義を全体的に更新
↑	1	\uparrow	↑	1.5. 関係者の定	・評価者に「修正の必要な脆弱性が発見さ
				義	れた場合」の役割を
					追加
1	1	\uparrow	↑	1.6. 前提条件	・前提条件の節を追加
↑	1	\uparrow	\uparrow	2. 要件	・要件番号を追記
					・侵入テストの要件に「事前合意・許可」
					の項目を追加
					・エビデンスに記載する項目を更新
					・2.2.節に"脆弱性対策の要件"を追加
<u> </u>	1	\uparrow	↑	表紙	・【入手先】を追加
$\Delta~4$	a00-04-a	2021/5/31	46F 菅野	1.2. 適用範囲	1.2.2.項 "Post19PF 以降の適用範囲"を更
					新
1	1	\uparrow	↑	1.3. 関連文書	・リスク指標定義書の Specification No.を
					追加
1	1	\uparrow	↑	2.1. 侵入テスト	・参照先の変更に合わせて表 7 の No.3 内の
				要件	要求 ID を修正
					・表 7 の No.8 のネットワークとサーバに関する要件
					を修正
\uparrow	1	\uparrow	\uparrow	全て	英訳追加

ECU	Test specification	Test specification of Penetration Testing for ECU		4/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

目次

1. は	じめ	-	5
1.1.	目白	的	5
1.2.	適月	甲範囲	6
1.	2.1.	19PF における適用範囲	6
1.	2.2.	Post19PF 以降における適用範囲 ^{Δ3Δ4}	6
1.	2.3.	設計変更における再実施(19PF/Post19PF 以降で共通) ^{Δ3}	7
1.3.	関注	車文書	8
1.4.	用記	語の定義	ç
1.5.	関係	系者の定義 ^2	11
1.6.	前担	是条件 Δ3	12
2. 要	华		13
2.1.	侵	入テストの要件	13
2.2.	脆	弱性対策の要件 ^{Δ3}	18
Appen	dix 1.	テストケースの例 ^2	19
Appen	dix 2.	情報及び機材の例 🗠	22
Annen	div 3	テスト内容立室の考え方 Δ2	23

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			5/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1. はじめに

お客様に安全・安心なクルマを提供するため、車載部品の脆弱性を低減するための活動が必要である。 車載部品に潜在する脆弱性を発見するには、侵入テストを実施することが有効である。本書では、ECU を対象とする侵入テストの要件を示す。 $^{\Delta 2}$

なお、適用範囲になるかの判断や要件を満たせるかの判断が難しい場合は、トヨタのセキュリティ主管部署、トヨタの ECU 設計部署及び ECU 開発者で協議することとする。△2

1.1. 目的

ECU 開発チーム以外のメンバーでありサイバーセキュリティに関する高度な能力を有する評価者が、市場での攻撃を模擬することで、ECU にリスク許容のできない脆弱性が存在しないことを確認する 4243

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			6/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.2. 適用範囲

19PF における本書の適用範囲は 1.2.1 項に従うこと。一方で、Post19PF 以降は 1.2.2 項に従うこと。 なお、1.2.3 項で定義する、設計変更における再実施については、19PF にも Post19PF 以降にもどちらにも適用してよい。 $^{\Delta 3}$

1.2.1. 19PF における適用範囲

19PF Ver.2 以降のエントリポイントを有する ECU のうち、表 1 の条件のいずれかを満たすものに適用する。 $^{\Delta_2}$

表1. エントリポイントを有する ECU のうち侵入テストの対象となるものの条件 (19PF) ^{Δ2}

No.	条件	条件に該当する	備考
		ECU の例	
1	セキュリティレベル L3 に該	AVN, DCM, ITS	・攻撃への遭遇確率が高いため
	当するもの		・セキュリティレベル L3 の定義は
			『19 電子 PF LAN 情報セキュリティ
			対策要件書』 43 を参照
2	グローバルバスに接続されて	本書発行時点では	・攻撃が成功した際の影響度が大きいため
	おり且つ通信のなりすましに	なし	・本書発行時点では、19PF のエントリポイ
	よりリスクランク7以上の事		ントを有する ECU は、この条件に該当する
	象となるもの		ことが許可されていない。
3	エントリポイントを持つシス	CGW, ESW	・攻撃が成功した際の影響度が大きいため
	テムと持たないシステムをつ		
	なぐ2層目に該当するもの		

1.2.2. Post19PF 以降における適用範囲^{Δ3Δ4}

Post19PF のエントリポイントを有する ECU のうち、表 2 の条件のいずれかを満たすものに適用する。

表2. 侵入テストの対象となるものの条件 (Post19PF 以降)

No.	条件	条件に該当する	備考
		ECU の例	
1	AP20 に該当するもの	AVN, DCM	・攻撃への遭遇確率が高いため
			・APの定義は
			『ECU 脆弱性対策要求仕様書』を参照

	ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			7/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network			No.	o. SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a00-04-a		
			-			
2	エントリポイントを持	寺つシス	ノス Central ECU		・攻撃が成功した際の影響度が大	てきいため
	テムと持たないシスラ	テムをつ				

1.2.3. 設計変更における再実施(19PF/Post19PF 以降で共通) ^{Δ3}

ECU の設計変更において以下の①~③をすべて満たす場合は、脆弱性の混入につながらないと判断できるため、侵入テストを実施しなくてよい。⁴²

- ① その設計変更より前の版数 (※1) の ECU に対して本書に従って侵入テストを実施し、そのエビ デンスが存在すること ^{Δ3}
 - (※1) ECU ノード名及びサプライヤが同一であれば、前の版数と見なしてよい。
- ② 自 ECU に新たなエントリポイントが追加されないこと

なぐ2層目に該当するもの

③ 自 ECU のエントリポイントを制御するハードウェア及びソフトウェアに、サイバーセキュリティに係る変更をしないこと

ただし、以下の例はサイバーセキュリティに係る変更に該当するため、③を満たさない。

- 1. エントリポイントを制御するマイコンの変更(ただし、マイコンのメモリ容量変更や、マイコン内蔵ペリフェラルの削除は、サイバーセキュリティに係らない変更である。)
- 2. エントリポイントを制御するマイコンに、設計変更前まで未実装の通信規格を用いるインタフェースを追加(例:エントリポイントではない Ethernet や USB の追加)
- 3. エントリポイントを制御するマイコンにおける、OS、BSW 又はサイバーセキュリティに係る ソフトウェアモジュール(SELinux、TOMOYO Linux 等)の置き換え

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			8/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

1.3. 関連文書

表3. トヨタ発行関連文書一覧 Δ2

仕様書番号	名称	
SEC-24PF-VCL-	Post19 電子 PF サイバーセキュリティリスク指標定義書(未発行)	
RIC-INST-DOC∆4	Post19ePF Cyber Security Risk Criteria Definitions(Unissued) 4	
SEC-ePF-VUL-	ECU 脆弱性対策要求仕様書	
ECU-REQ-SPEC Requirements specification of vulnerability countermeasure for ECU		
SEC-ePF-VUL-	ECU 脆弱性対策評価仕様書	
ECU-TET-SPEC	Test specification of vulnerability countermeasure for ECU	
SEC-ePF-VUL-	共通脆弱性対策要求仕様書	
CMN-REQ-SPEC	Requirements Specification of Common Vulnerability Countermeasure	
SEC-ePF-TRM-	制御電子 PF サイバーセキュリティ及びプライバシー用語定義書	
GUD-PROC	Terms and Definitions related to Cybersecurity and Privacy in E/E Architecture	

表 4. 公的関連文書一覧

本書における略称	名称/外部リンク					
SP 800-115 ⁴²	National Institute of Standards and Technology (NIST) , U.S. Department of					
	Commerce, "Technical Guide to Information Security Testing and					
	Assessment, "(Sep. 2008),					
	https://nvlpubs.nist.gov/nistpubs/Legacy/SP/nistspecialpublication800-115.pdf					
NHTSA-BP	National Highway Traffic Safety Administration (NHTSA) , U.S. Department					
	of Transportation, "Cybersecurity Best Practices for Modern Vehicles," (Oct.					
	2016),					
	https://www.nhtsa.gov/staticfiles/nvs/pdf/812333_CybersecurityForModernVehi					
	<u>cles.pdf</u>					
ISO 18045^{Δ_2}	ISO/IEC 18045:2008, "Information technology — Security techniques —					
	Methodology for IT security evaluation," (Aug. 2008)					
個人情報保護法42	個人情報の保護に関する法律(平成 15 年法律第 57 号)					
	https://www.ppc.go.jp/files/pdf/290530_personal_law.pdf					
	Act on the Protection of Personal Information (Act No. 57 of 2003)					
	http://www.japaneselawtranslation.go.jp/law/detail/?id=2781&vm=04&re=01&n					
	<u>ew=1</u>					
ISO/SAE 21434	ISO/SAE DIS 21434:2020, "Road Vehicles — Cybersecurity engineering,"					
Δ2Δ3	(Feb. 2020)					

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			9/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.4. 用語の定義

この節では、本書において特に詳細に定義すべき用語を解説する。なお、この節に解説のない用語は、 『制御電子 PF サイバーセキュリティ及びプライバシー用語定義書』の解説の通りとする。 43

侵入テスト 42

アプリケーション、システム又はネットワークのセキュリティ機能を回避する方法を特定するために、 評価者が実際の攻撃を模擬するセキュリティテスト。

侵入テストは3つのフェーズ(計画フェーズ、実行フェーズ及び報告フェーズ)からなる。侵入テストの実施とは、3つのフェーズをいずれもすべて実施することである。

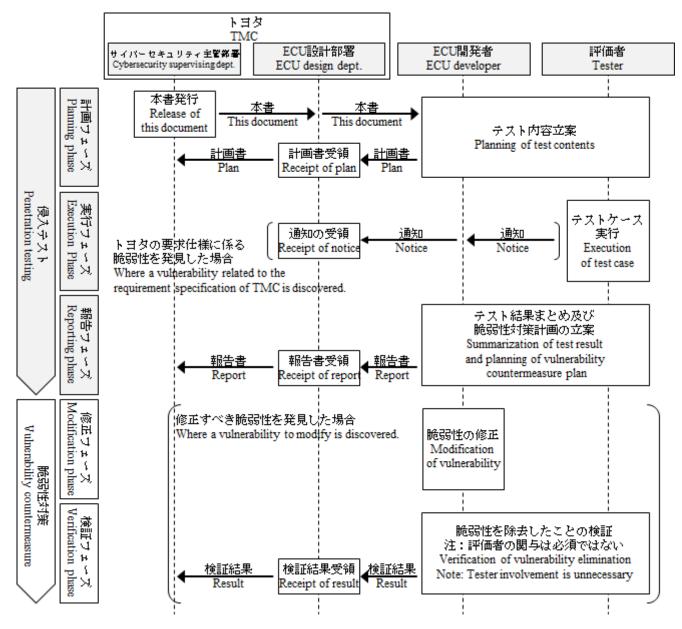


図1. 侵入テストと脆弱性対策の進め方のイメージ43

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

脆弱性対策△3

脆弱性対策は、2つのフェーズ(修正フェーズ及び検証フェーズ)からなる。侵入テストを実施した 後に、実施する。脆弱性対策の実施とは、2つのフェーズをどちらも実施することである。侵入テスト によって、修正の必要な脆弱性が発見されなかった場合は、脆弱性対策を省略できる。

$\overline{\mathcal{F}}$ ストケース $^{\Delta_2}$

脅威が生じる恐れのあるシナリオを実現するために、どのようなテストをするかを洗い出してまとめたもの。下図のイメージを参照。

1件のテストケースを実行することによって、少なくとも1個以上の脆弱性の有無が明らかにできるような粒度で設計される。

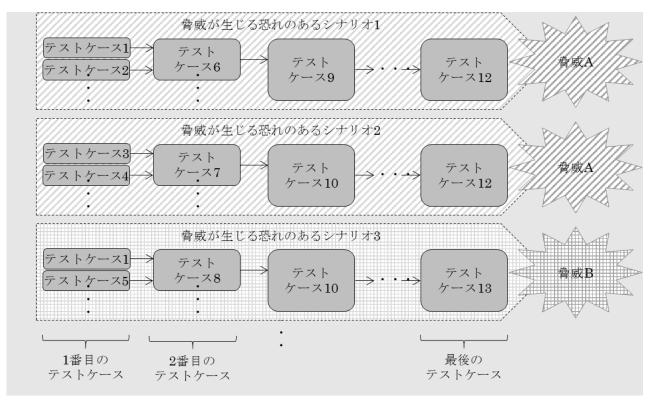


図2. 脅威とテストケースの関係性のイメージ△2

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			11/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.5. 関係者の定義 🕰

ECU に対する侵入テストにおける関係者の一覧とその役割を示す。

表 5. 関係者の一覧とその役割

関係者	役割
トヨタのサイバーセキュリティ	トヨタにおいて、車両のサイバーセキュリティを担保するため、
主管部署	電子 PF のセキュリティ対策を開発する。以下の活動をする。
(46F3G)	▶ 本書の引き当て条件の定義
	▶ 本書の発行
トヨタの ECU 設計部署	トヨタにおいて、電子 PF のセキュリティ機能を搭載した ECU
	の設計を行う。以下の活動をする。
	➤ ECU に対する本書の引き当て
	▶ 計画書、報告書及び検証結果を開発文書の一部として保管
ECU 開発者	ECU 開発チームのメンバーであり、評価者とともに侵入テスト
	及び脆弱性対策を実施する。以下の活動をする。
	▶ 計画フェーズ及び報告フェーズの実施(実行フェーズの実施
	は不可)
	▶ 修正の必要な脆弱性が発見された場合に、修正フェーズ及び
	検証フェーズの実施△3
	▶ トヨタの ECU 設計部署へ、計画書、報告書及び検証結果を
	提出
評価者	ECU 開発者とともに侵入テスト及び脆弱性対策を実施する。以
	下の活動をする。
	▶ 計画フェーズ、実行フェーズ及び報告フェーズをすべて実施
	▶ 修正の必要な脆弱性が発見された場合に、検証フェーズを実
	施(任意)△3

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			12/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.6. 前提条件^{△3}

本書では、ECU 開発者及び評価者が、表6の各項目について適切に対応することを前提としている。

表 6. 前提条件

No.	分類	前提条件	背景
1	ツール	所属組織におけるツールに係る規程に従って、使用した	ISO21434 5.4.7 項 Tool
		ツールを管理する。	Management
2	脆弱性	所属組織における脆弱性に係る規程に従って、発見され	ISO21434 7.6 節
		た脆弱性を管理する。	Vulnerability
			Management
3	エビデンス	所属組織における情報セキュリティ管理規程に従って、	ISO21434 5.4.8 項 5.4.8
		各エビデンスを管理する	Information Security
			Management,
			ISO21434 10.5 節 Work
			Products ⊘[WP-10-06]

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			13/24
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

2. 要件

2.1. 侵入テストの要件

【要件番号: VULEPN_00001】 ⁴³

侵入テストの適用対象となった ECU は、表7の要件に従い、侵入テストを実施すること。

表7. 侵入テストの要件

No.	分類	要件	備考
1	実施時期	次の条件をもとに実施時期を選定すること。	シス検品以降の ECU を
		1. (必須条件①) CV 品の納入までに侵入テストの実施	対象に実施することを想定
		を完了できること△2	
		2. (必須条件②) 号試移行までに脆弱性対策の実施を	
		完了できること	
		3. (推奨条件) 号口品に可能な限り近い仕様をもとに	
		実装した ECU をテストできること	
2	進め方42	ECU 開発者及び評価者は、次のフェーズを実施すること。	計画フェーズ及び報告
		▶ 計画フェーズ: ECU 開発者及び評価者は、本書に	フェーズは『SP 800-115』
		従ってテスト内容を立案し、計画書を作成する。	における同じ用語に対応し
		実行フェーズの前に、テスト環境を構築するための	ている。
		準備を行う	実行フェーズは
		実行フェーズ:評価者は、計画に従ってテスト環境を	『SP 800-115』における
		構築し、テストケースを実行する	発見フェーズと攻撃フェー
		➤ 報告フェーズ: ECU 開発者及び評価者は、テスト	ズのふたつを包含したもの
		結果のまとめ及び脆弱性対策計画の立案を行い、	である。
		報告書を作成する	
3	対象 ECU	号口品と同等の仕様をもとに実装した ECU にテストを	特権機能(テストアクセス
	Δ2	すること。やむを得ず同等にできない場合は、号口品との	ポート等)に対しても、
		仕様の差分とその理由をエビデンスに記すこと。	号口品と同等のセキュリテ
			ィ対策を有効にすること。
			『共通脆弱性対策要求仕様
			書』の要件
			VULCMN_00400⁴及び
			VULCMN_02500⁴を参
			照。
4	対象機能	1. 脅威分析で明らかになった脅威が生じる恐れのある	_
		機能をテストすること。 △2	
		2. (設計変更時に侵入テストを実施する場合、)設計	
		変更より前の版数(※1)で侵入テストが実施されて	

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		14/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

No.	分類	要件	備考
		いるならば、設計変更により影響を受ける機能のみを	
		テストすることとしてよい。Δ2	
		(※1) ECU ノード名及びサプライヤが同一であれば、	
		前の版数と見なしてよい。	
5	実施体制 42	1. 評価者は、ECU 開発チームのメンバーではないこと	・『NHTSA-BP』6.6.2 節に
		Δ_2	"テストを行うにあたり、
		2. 評価者には、サイバーセキュリティテストに関する	開発チーム以外のメンバー
		十分な能力(※2)を有している者を少なくとも一人	であり、十分な能力を有し
		以上含むこと△2	ているテスターや、脆弱性
		3. 外部組織ヘテストを委託してもよい△1	の特定に対して高いインセ
		(※2) サイバーセキュリティについて5年以上のプロ	ンティブが与えられている
		フェッショナルとしての業務経験(大卒者は4年	メンバーを含むべきであ
		間の経験で可(1年分の経験免除))且つ過去3年	る"と記載されているため
		間に類似のテスト(※3)を実施した経験がある	・業務経験年数の条件は、
		こと。	サイバーセキュリティの
		(※3)類似のテストとは、対象 ECU に使用されている	国際資格である CISSP の
		技術に係る組込みシステムに対する侵入テスト	認定条件を引用
		とする。 ^2	
6	提供情報・	 ECU 開発者は、開発チームによる脆弱性分析結果を評価	・『Appendix 2. 情報及び
	提供機材	者に提供すること。また、次の条件に当たる情報及び機材	機材の例』を参考にしても
	Δ2	を評価者に提供すること。	よい。
		I. 対象 ECU を正常に動作させるために必要なもの	・現実的な時間とは、
		II. 製品出荷後に市場で入手可能なもの	『ISO18045』の攻撃能力
		III. テスト時間の短縮に有効であり且つ現実的な	の計算方法から、おおよそ
		時間内に攻撃者が入手可能であるとの証拠を	半年間と想定。
		評価者が示したもの	・評価者は ECU 開発者に
			用途を説明すること。
7	テスト内容	ECU 開発者及び評価者は、計画フェーズにおいて、	・外部組織への委託の必要
		以下の順にテスト内容を立案すること。△2	性の検討に、『Appendix 1.
		I. 開発チームによる脆弱性分析結果の提供:対象	テストケースの例』を参考
		ECU の開発において行った脆弱性分析の結果を、	にしてもよい。
		ECU 開発者から評価者に提供する。△2	・テスト内容立案の手順に
		II. 脅威分析:評価者は、ECU 開発者から提供された	は、『Appendix 3. テスト
		対象 ECU の情報をもとに、攻撃者目線で脅威分析	内容立案の考え方』の解説
		を行う。 ^{△2}	を参考にしてもよい。△2
		III. シナリオ検討:Ⅱ.の脅威分析で明らかになった	

Test specification of Penetration Testing for ECU	

15/24

Application: ECU of In-Vehicle Network No. | SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a00-04-a

ECU

No.	分類	要件	備考
		脅威が生じる恐れのある攻撃シナリオを、評価者の	
		能力で実行できる範囲で検討する。△2	
		IV. テストケース作成:検討した攻撃シナリオをすべて	
		実行できるように、テストケースを作成する。 ^{△2}	
8	事前合意・	ECU 開発者は、少なくとも次の条件に当たる行為を実行	同様に、ECU 開発者評価
	許可△3	する場合は、事前にトヨタの ECU 設計部署へ問合せし、	者の間でも、提供機材の
		許可を得ること。	取り扱い等について事前に
		1. トヨタの許可が必要な情報及び機材を評価者へ提供	合意することが望ましい。
		2. トヨタの所有する機材の不可逆な操作や破壊	
		3. ECU 開発者または評価者が所有していないネットワ	
		ークやサーバへの接続 Δ4	
9	エビデンス	1. ECU 開発者及び評価者は、計画フェーズにおいて、	『NHTSA-BP』 6.6.2 節に
	Δ_2	計画書を作成すること。計画書は、実行フェーズの	"侵入テスト報告書は、
		開始の前にトヨタの \mathbf{ECU} 設計部署へ提出すること $^{\Delta_2}$	サイバーセキュリティアプ
		2. ECU 開発者及び評価者は、報告フェーズにおいて、	ローチに関連する内部文書
		報告書を作成すること。報告書は、CV 品の納品まで	の一部として保管すべきで
		にトヨタの ECU 設計部署へ提出すること△2	ある。文書化する際は評価
		3. 計画書及び報告書には、少なくとも表8の各項目を	者、評価者の能力、評価者
		記載すること 4243	の長所について明記すべき
		ただし、表8の各項目のうち、No.6「テスト内容」	である。報告書には、検知
		及び No.7 「発見した脆弱性」の内容は、評価者が作成	したサイバーセキュリティ
		すること。ECU 開発者は、評価者の合意なく内容を	の脆弱性への対策に係る内
		変更しないこと△3	容、及び、対策方法の詳細
		4. エビデンスに記載する情報が、『個人情報保護法』に	を文書化すべきである。"
		おける"個人情報"に該当しないよう配慮すること	と記載されているため。
10	その他	1. トヨタからのテストに関する問合せに回答できる	1.について、脆弱性の改修
		こと。テスト内容や作業ログ(例:ターミナルログ等)	方針を決定するまでに、最
		は、報告書の提出から半年間は保存すること。	大で半年かかると想定。
		2. トヨタの要求仕様に係る脆弱性を発見した場合は、	
		発見した時点で速やかにトヨタの ECU 設計部署へ	
		通知すること。	
		3. 発見した脆弱性の再現手順を、ECU 開発者が再現可能	
		な粒度で示すこと。△2	
		4. 発見した脆弱性の深刻度を評価すること。深刻度の	
		評価基準には、CVSS v3 を用いること。CVSS v3 の	
		ほかに、別の評価基準も併せて用いる場合は、その評	

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		16/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

No.	分類	要件	備考
		価基準の仕様を示すこと。 ^{△2}	

【要件番号: VULEPN_00002】 $^{\Delta_3}$

ECU に対する侵入テストを実施する際には、表8の項目をエビデンスへ記載すること。

表 8. エビデンスに記載する項目 $^{\Delta_2}$

No.	項目	記載内容	計画書での	報告書での
			記載の要否	記載の要否
1	実施時期	▶ 計画フェーズ、実行フェーズ及び報告フェーズの	要	要
		スケジュール		
2	対象 ECU	▶ 対象 ECU のハードウェア及びソフトウェアの版数を	要	要
		特定できる情報(例:名称、品番、ソフト品番)		
		▶ 対象 ECU と号口品との差分の有無及び差分がある場合		
		にはその一覧		
3	対象機能	▶ 侵入テスト対象となる機能を限定する場合には、	要	要
		除外する機能の一覧と除外理由		
		▶ 設計変更時のテストにおいて、対象機能を限定する場合		
		にはその機能の一覧		
4	実施体制	➤ ECU 開発者及び評価者の体制	要	要
		(例:人数、役割分担)		
		➤ ECU 開発者の責任者及び業務窓口担当者		
		▶ 評価者の所属組織及び選定理由		
		▶ 評価者の専門性を示す情報		
		(例:業務経験、保有する能力)		
5	提供情報•	➤ ECU 開発者から評価者への提供情報の一覧	要	要
	提供機材	➤ ECU 開発者から評価者への提供機材の一覧		
6	テスト内容	▶ 脅威の一覧 ⁴³	要	要
		▶ テストケースの一覧	(※4)	(※4)
		・テストケースの名称		
		▶ テストケースの詳細		
		・テストケースによって実現したい脅威		
		・脅威により損なわれる資産と		
		そのサイバーセキュリティ特性△3		
		・テストケースにおいて標的とする攻撃の入口		

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		17/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

No.	項目	記載内容	計画書での	報告書での
			記載の要否	記載の要否
		・テストケースを実行するために使用するツールの情報		
		(例:名称、版数、再現のための設定)△3		
		▶ テストケースを実行するためのテスト環境の構成		
		▶ テスト環境と実環境との差分(※5) ^{△3} の有無及び差分		
		がある場合にはその一覧		
		(※5)実環境とは、対象 ECU が車両に組み付いた状態の		
		ことである。 ^{∆3}		
		▶ テストケースの一覧	-	要
		・実行フェーズにおいて実行したか否か		(※4)
		・脆弱性を発見したか否か		
		▶ 実行フェーズで実行しなかったテストケースがある場合		
		はその理由		
7	発見した脆	▶ 発見した脆弱性の一覧	-	要
	弱性	▶ 発見した脆弱性の詳細		(※4)
		・脆弱性により損なわれる資産と		
		そのサイバーセキュリティ特性△3		
		・脆弱性の深刻度とその導出過程		
		・脆弱性の再現手順		
8	脆弱性対策	➢ 発見した脆弱性の対策計画	-	要
	計画	・修正する脆弱性の修正方法とそのスケジュール		
		・修正しない脆弱性を修正しないと判断した理由		

($\stackrel{*}{\sim}$ 4)評価者が作成すること。ECU 開発者は、評価者の合意なく内容を変更しないこと。

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		18/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

2.2. 脆弱性対策の要件 🛚 3

【要件番号: VULEPN_00003】

ECU に対する侵入テストによって、修正が必要な脆弱性が発見された場合、表9の要件に従い、脆弱性対策を行うこと。

表 9. 脆弱性対策の要件

No.	分類	要件	備考
1	進め方	ECU 開発者及び評価者は、次の 2 つのフェーズを実施	・検証フェーズは、実行
		すること。	フェーズ及び報告フェー
		1. 修正フェーズ: ECU 開発者は、報告書に記載した	ズを再実施することで、
		脆弱性対策計画に沿って、修正する。	代替してもよい。
		2. 検証フェーズ: ECU 開発者及び評価者は、脆弱性が	・検証の手段は、脆弱性が
		修正できていることを検証する。ただし、評価者の	修正できたことが示せれ
		関与は任意とする。	ばよいため、テストは必
			須ではない。
2	エビデンス	1. ECU 開発者及び評価者は、検証フェーズにおいて、	_
		検証結果を作成すること。検証結果は、脆弱性の修正	
		ができた試作品の納品までにトヨタの ECU 設計部署	
		へ提出すること。	
		2. 検証結果には、脆弱性が修正できたことを示す根拠を	
		記載すること。	

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		19/24	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Appendix 1. テストケースの例²

外部組織への委託の必要性を検討するための参考資料として、侵入テストのテストケースの例を提示する。 $^{\Delta_2}$

下表は、あるセキュリティ会社が、ある ECU に対する侵入テストを計画した際の、テストケースの 抜粋である。ECU によっては、プロトコルを実装していない等の理由で、実行しなくてよいテストケースが含まれている。 $^{\Delta 2}$

表 10. テストケースの例 4142

分類	No.	表 10. アストケースの例*1*2 テストケースの名称						
Ren	1	ダイアグ機能による ECU のバックドアの検出						
Remote Access &	2	ダイアグ機能による不揮発性メモリへのアクセス						
ccess	3	ダイアグ機能による不揮発性メモリへの鍵のアクセス						
& Pe	4	ダイアグ機能によるテストモードの検出、有効化						
Persistence	5	ダイアグ機能によるデモモードの検出、有効化						
ence	6	リバースエンジニアリングによるテストモードの検出、有効化						
	7	リバースエンジニアリングによるデモモードの検出、有効化						
	8	OSS 脆弱性によるファームウェアの変更						
	9	ダイアグ機能による不揮発性メモリへのキー書き込み						
	10	ダイアグ機能による不揮発性メモリへの書き込み						
	11	ダイアグ機能によるファームウェアの変更						
	12	ダイアグ機能による不揮発性メモリのバーンアウト						
	13	3 ダイアグ機能によるファームウェアのダウングレード						
	14	リバースエンジニアリングによる ECU のバックドアの検出						
Exec	15	ダイアグ機能によるコマンドインジェクション						
Execution	16	CAN メッセージによるコマンドインジェクション						
·	17	OSS 脆弱性によるコマンドインジェクション						
	18	ファームウェアイメージのセキュリティ対策の分析						
	19	CAN リプレイ						
	20	CAN メッセージのフラッディングによる侵入検知の妨害						
	21	エラーメッセージの大量送信によるサービス妨害						
	22	不正なダイアグメッセージ						

Test specification	of Penetration	Testing for ECU
1000 opcomion	or r circuration	TODDING TOT LICE

SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a00-04-a

No.

ECU20/24

Application: ECU of In-Vehicle Network

分類	No.	テストケースの名称
Exe	23	運転手に成りすまして偽装したコマンドでシステムを撹乱
Execution	24	ダイアグメッセージのフラッディング
1	25	ダイアグメッセージのフラッディングによる侵入検知の妨害
	26	ダイアグ機能の権限昇格
	27	SYN フラッディング
	28	CAN メッセージによるバッファオーバーフロー
	29	ダイアグメッセージによるバッファオーバーフロー
	30	OSS 脆弱性によるバッファオーバーフローインジェクション
	31	優先度の高いダイアグメッセージを許容される状態以外で送信
	32	ECU を中間者攻撃のために使用する
	33	ECU をリレーとして使用する
	34	ブートローダーのセキュリティ機能の回避
Delivery	35	物理ポートのセキュリティ機能の分析 (プラグアンドプレイ機能の設定)
very	36	物理ポートの侵入検知機能の分析
	37	クエリ文字列における機密情報
	38	HTTP GET における機密情報
	39	ネットワークの適切なセグメント化
	40	取り外し可能な記憶媒体からファームウェアを抽出する
	41	取り外し可能な記憶媒体を変更する
Deve	42	デバイス間で鍵が共有されないようにする
Development	43	Web サービスの不正なアクティブ化
nent	44	ARP ポイズニング
	45	サービス妨害フラッディング
	46	キャプチャしたダイアグメッセージのリプレイ
	47	リスクの低いダイアグ機能によるデータの引き出し
	48	TCP ハイジャック

49 TCPKill によるサービス妨害

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU
LCC	rest specification of renetration resums for need

Application: ECU of In-Vehicle Network No. | SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a00-04-a

 分類 No.
 テストケースの名称

21/24

分類	No.	テストケースの名称								
Deve	50	通信のフレームパディングにおけるメモリ情報の漏えい								
Development	51	CAN メッセージのフィルタリング								
	52	ブートローダーがファームウェアを適切に認証しない								
Disc	53	無防備なネットワークやサービスの受動的発見(通信キャプチャ)								
Discovery	54	脆弱性スキャンツールによるスキャン								
,	55	ネットワークストレステスト								
	56	telnet、TFTP、SSH、ダイアグ機能のデータファジング								
	57	telnet、TFTP、SSH、ダイアグ機能プロトコルファジング								
	58	通信フレームの処理時間の計測による応答性能の分析								
	59	バックアップによって機密情報を保存する								
	60	無防備なネットワークやサービスの能動的発見(ポートスキャン)								
	61	期限切れのカーネル								
	62	期限切れのライブラリおよびアプリケーション								
	63	取り外し可能な記憶媒体								
	64	ハードウェアデバッグポート								
	65	SSH、TFTP、FTP、telnet 共通認証情報の利用								
	66	アクセス制御のエラーメッセージの分析								
	67	デフォルト認証を使用するファクトリーリセット								
	68	ダイアグ機能によって予期せぬ状態をアクティブ化する								
	69	通信によって予期せぬ状態をアクティブ化する								
	70	リバースエンジニアリングによる予期せぬ状態の発見								

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			
Application: ECU of In-Vel	nicle Network	No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

Appendix 2. 情報及び機材の例^Δ2

ECU に対する侵入テストを実施するために用いる情報及び機材の例を表 11 に示す。

開発中の ECU に関する情報及び機材は、市場ではまだ入手ができない。このため、評価者が市場での攻撃を模擬できるように、ECU 開発者から評価者へ表 11 の情報及び機材を提供する。

なおこの表は参考資料であるため、やむを得ない事情があれば提供しなくてよい。また、表に記載していないものの提供を妨げるものではない。

表 11. 情報及び機材の例

2.7	衣 11. 情報及 0 機材 0 例							
No.	説明		情報の例		機材の例			
1	対象 ECU を正常に	>	コネクタのピンアサイン	>	ECU 試作品			
	動作させるために	>	ECU の起動手順、リセット手順	>	ワイヤハーネス			
	必要なもの			>	外付け部品			
					(例:アンテナ)			
2	製品出荷後に市場で	A	オーナーズマニュアルに記載する情報	>	診断ツール			
	入手可能なもの	>	サービスマニュアルに記載する情報					
		>	車載ネットワークにおける対象 ECU の					
			接続構成					
		>	対象 ECU の有する入出力インタフェー					
			スと、その規格(例:CAN、USB、					
			100BASE-TX)及び設定値(例:MAC					
			アドレス、IPアドレス、VLAN ID)					
		>	対象 ECU が搭載する半導体パッケージ					
			(例:マイコン、マイコン外付けメモリ)					
			の型番、製造者、データシート及び					
			マニュアル。					
			ただし、例えば HSM (Hardware					
			Security Module) のマニュアルのよう					
			に、入手に制限がなされている情報は					
			これに含まれない。					
3	テスト時間の短縮に	【 ∌	見実的な時間内に攻撃者が入手可能である	【 ₹	見実的な時間内に攻撃者			
	有効であり且つ現実	意	E拠を評価者が示した場合のみ】	カ	バ入手可能である証拠を			
	的な時間内に攻撃者	>	車載ネットワーク上で対象 ECU が	章	平価者が示した場合のみ】			
	が入手可能であると		送受信する信号の一覧	>	リプロ用ツール			
	の証拠を評価者が示	>	使用しているオープンソースソフト					
	したもの		ウェアとそのバージョン					
		>	暗号化済みリプロ用ファームウェア					
		>	実行コード (バイナリ)					

ECU	Test specification	23/24		
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Appendix 3. テスト内容立案の考え方[△]2

この参考資料では、テスト内容立案の手順について解説する。

テスト内容立案の手順は、『ISO21434』にもとづいたトヨタのサイバーセキュリティ開発プロセスと 関係づけることを基本方針として作成している。イメージを下図に示した上で、重要なポイントについ て解説する。^{△3}

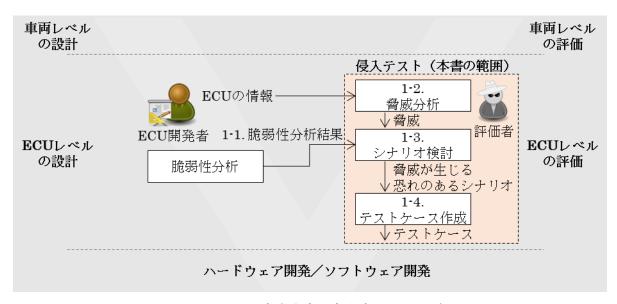


図3. テスト内容立案の考え方のイメージ

1-1. 開発チームによる脆弱性分析結果の提供

- ▶ 侵入テストは、サイバーセキュリティ開発プロセスにおける "ECU レベルの評価"の工程に含まれる。このため V 字モデル上では、"ECU レベルでの設計"の工程で実施する "脆弱性分析"と対の関係に位置づけることができる。この関係をもとに、開発チームによる脆弱性分析の結果をテスト内容立案において利用することとする。これには次の狙いがある。
 - 脆弱性分析において対処すると判断した脆弱性のうち、実機で対処できていることを確認すべきと判断したものを、侵入テストで確認する。
 - 評価者が実行する必要性の低いテストケースを作成することを避ける。なお、実行する必要性 の低いテストケースとは、次の例のようなもののことである。

例1:ECU 開発者にとって既知の脆弱性に対するテストケース

例2:リスクが低いため ECU 開発者が許容した脆弱性に対するテストケース

- ▶ 脆弱性分析の手法については本書の範囲外であるが、例として、次のいずれかの結果を脆弱性分析 結果として利用してもよい。
 - 『ECU 脆弱性対策要求仕様書』に従った脆弱性分析
 - 有識者による脆弱性分析の実施
- ▶ 本書の要件を満たすためだけに、開発チームが新たに脆弱性分析をすることは想定していない。

ECU	Test specification	24/24		
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	100-04-a

1-2. 脅威分析

- ▶ 侵入テストでは、ECU 開発チームとは独立した立場から、攻撃者の目線で行った分析結果を含め るべきである。これは、ECU 開発チームには気づけなかった脅威を、侵入テストによって発見する ことを狙うものである。
- ▶ 脅威分析の詳細手順は、本書では指定しない。なお、評価者は過去の侵入テストの経験を活かし、 作業量の削減を図ることが望ましい。

1-3. シナリオ検討

- ▶ シナリオ検討の詳細手順は本書では指定しない。
- ▶ 「評価者の能力で実行できる範囲で検討」としているのは、侵入テストにおけるテスト内容の妥当性の裏付けは、突き詰めると評価者の能力に拠るものと考えているためである。
- ▶ 表7のエビデンスに記載する項目には、シナリオ検討の結果を含めていないが、これはシナリオを 文書化する作業量の削減を狙ったものである。

1-4. テストケース作成

- ▶ テストケース作成の詳細手順は本書では指定しない。
- ▶ 本書では、評価者が必ず計画を立てるようにするため、実行フェーズの前に、計画書を作成することにしている。計画を立てることには、次の狙いがある。
 - 限られた期間に有効なテストを行うため、ECU の重要な部位に対して重点的にテストケース 作成したり、テストケースの優先順位をつけたりする。
 - 侵入テストのエビデンスは、開発文書の一部として保管する。このため、脆弱性を発見したテストケースのほかに、"実行したが脆弱性が発見されなかったテストケース"及び"実行しなかったテストケース"もエビデンスに記録する。
- ➤ 評価者に比べ、その他の関係者のサイバーセキュリティに関する能力は低いことが一般に想定されるため、評価者が作成したテストケースが、十分なものとなっているかの確認は難しい。一方で、標的とする攻撃の入口が十分に洗い出されているかは、ECU の特徴に詳しい ECU 開発者であれば比較的容易と考えられる。この様に、ECU 開発者は、評価者からテストケースを作成した背景をヒヤリングすることで、テストケースに不足がないかを確認することを推奨する。

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Revision Records $^{\!\Delta 1}$

Mark	Version	Date	Revised	Item	Revision contents
	a00-00-a	Jun,30,	51F	All item	
		2018	Ozaki		
Δ1	a00-01-a	Nov,06,	51F	Revision	Added the revision record table
		2018	Ozaki	Records	
1	\uparrow	↑	\uparrow	3. Terms and	Unified the definition of entry point into that in
				Definitions	upper-level documents
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	6. Requirements	• "Testing may be outsourced to an external
				for Penetrating	organization." has been changed from a remark to
				Testing	the requirement for the tester.
					• Revised the requirements on the test contents.
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	Reference	• Updated the names of the test cases to names that
				Material 1	are easy to understand
					Deleted the redundant test cases ("Command
					injection via OSS vulnerabilities of diagnostic
					function" and "Attack via network path: ARP
					poisoning")
1	↑	\uparrow	1	All items	Error correction of the others
$\Delta 2$	a00-02-a	Apr,26,	46F	1.1. Purpose	Corrected the contents so as to be in accordance
		2019	Ozaki		with the procedure of the development process
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.2. Scope	Added Table 1 to set the conditions of the target
					ECU
					Changed the principle in engineering change
\uparrow	\uparrow	↑	↑	1.3. Related	Added a table of a list of related documents
				Documents	• Added SP 800-115, WP29, and Personal
					Information Protection Act to the list of official
					related documents
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.4. Terms and	• Unified the definition of "entry point" into that in
				Definitions	upper-level documents
					Added terms other than "entry point"
\uparrow	\uparrow	\uparrow	\uparrow	1.5. Definitions	Added newly
				of Persons	
				Concerned	
1	<u></u>	1	1	2. Requirements	• Corrected the contents in Table 5 in accordance
				for Penetrating	with the ways to proceed with the whole test

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			
Application: ECU of In-Vel	hicle Network	No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

				Testing	• Added Table 6
	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	Appendix 1	Changed the names of the chapters and table
1	<u> </u>	1	↑	Appendices 2 and 3	Added newly
\uparrow	1	↑	1	All items	Changed the chapter structure
					Other minor correction
Δ3	a00-03-a	Jun,23,	46F	1.1. Purpose	· Changed the expression in the purpose to
		2020	Matsui		confirm that there is no vulnerability
					"with unacceptable risks".
\uparrow	1	↑	↑	1.2. Scope	· Added "Scope of Post19PF and later" in
					subsection 1.2.2.
					· Added "Re-Testing due to design changes"
					in subsection1.2.3.
\uparrow	1	↑	1	1.3. Related	Added following documents in the list of
				Documents	Related Documents
					· Cyber Security Countermeasure
					Requirements for 19PF
					• ISO/SAE 21434
\uparrow	1	\uparrow	\uparrow	1.4. Terms and	Modified terms and difinitions
				Definitions	
\uparrow	1	\uparrow	1	1.5.	Added the role of "if the vulnerabilities
				Definitions of	whitch should be corrected is found" for
				Persons	tester
				Concerned	
\uparrow	1	↑	\uparrow	1.6.	Added the section of Preconditions
				Preconditions	
\uparrow	↑	\uparrow	\uparrow	2.	· Added the Requirement ID
				Requirements	· Added the itmes of "Prior agreement and
					permission" in the requirements of
					penetrating testing
					• Updated the items of evidence
					· Added "Requirements of vulnerability
					countermeasure" in section 2.2
1	1	↑	↑	Cover	Added "Source"
$\Delta~4$	a00-04-a	May,31,	46F	1.2. Scope	Updated "Scope of Post19PF and later" in
		2021	Sugano		subsection 1.2.2

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		3/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1	\uparrow	\uparrow	↑	1.3. Related	Added the specification No. of Post19ePF Cyber
				Documents	Security Risk Criteria Definitions
1	↑	\uparrow	1	2.1.	· Corrected the requirement ID in No.3 of Table7
				Requirements	in accordance with the modification of reference
				of Penetrating	document.
				Testing	· Modified the requirement related to "network
					and server" described in No.8 of Table7.
1	↑	\uparrow	↑	All	Add English translation

ECU	Test specification	of Pe	4/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

Table of Contents

1.	Inti	roduc	etion	. 5
1	.1.	Pur	RPOSE	. 5
1	.2.	Sco	PE	. 6
	1.2.	1.	Scope of 19PF	. 6
	1.2.	2.	Scope of Post19PF and later $^{\Delta 3 \Delta 4}$.	. 6
	1.2.	3.	Re-Testing due to a design changes (Common for 19PF and Post19PF and later) $^{\Delta 3}$. 7
1	.3.	REL	ATED DOCUMENTS	. 9
1	.4.	TER	MS AND DEFINITIONS	10
1	.5.	DEF	FINITIONS OF PERSONS CONCERNED ^{A2}	13
1	.6.	Pre	$^{ m CONDITIONS^{\Delta 3}}$	14
2.	Req	luire	ments	15
2	.1.	REG	QUIREMENTS FOR PENETRATION TESTING	15
2	.2.	REG	QUIREMENTS OF VULNERABILITY COUNTERMEASURE ^{A3}	23
App	endi	x 1.	Examples of Test Cases ^{A2}	24
App	endi	x 2.	Examples of Information and Equipment ^{A2}	27
App	endi	x 3.	Concept of Test Contents Planning ^{A2}	29

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			5/30
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1. Introduction

It is necessary to conduct activities for reducing vulnerabilities of an in-vehicle part in order to provide a safe and secure automobile to a customer. Implementation of penetrating testing is effective for discovering potential vulnerabilities in an in-vehicle part. This document indicates the requirements of penetration testing for an ECU^{Δ_2} .

If it is difficult to judge whether the scope is applicable or whether a requirement is satisfied, TMC security supervising dept., TMC ECU design dept. and the ECU developer shall discuss it^{Δ2}.

1.1. Purpose

The purpose is to confirm that there is no vulnerability with unacceptable risks in an ECU via mimicking of attacks in the market by a tester who does not belong to the ECU development team and has a high level of cybersecurity related ability. $^{\Delta_2\Delta_3}$

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		6/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.2. Scope

The scope of this document for 19PF is accordance with subsection 1.2.1. On the other hand, the scope for Post19PF and later is accordance with subsection 1.2.2. In addition, Re-testing due to design changes may be applied to 19PF and Post19PF and later. $^{\Delta_3}$

1.2.1. Scope of 19PF

This document shall apply to an ECU which has an entry point in 19PF Ver.2 and later and satisfies any of the conditions in Table 1. $^{\Delta_2}$

Table 1. Conditions to Be an ECU with an Entry Point Subject to Penetration Testing (19PF) ^{A2}

No.	Condition	Example of ECU	Remarks
		satisfying the	
		condition	
1	An ECU which security	AVN, DCM, ITS	• Because of high probability of being
	level is L3		attacked
			• Refer "Cyber Security Countermeasure
			Requirements for 19PF" for the definition
			of security level.
2	An ECU which is connected	n/a as of the	· Because of a great impact when an
	to a global bus and to	release date of	attack succeeds
	which communication	this document	• As of the release date of this document,
	spoofing brings about an		an ECU with an 19PF entry point is not
	event of Risk rank 7 or		allowed to fall under this condition.
	higher		
3	An ECU which serves as	CGW, ESW	· Because of a great impact when an
	the Layer 2 connecting a		attack succeeds
	system with an entry point		
	and a system without an		
	entry point		

1.2.2. Scope of Post19PF and later $^{\Delta_3\Delta_4}$

This document shall apply to an ECU which has an entry point in Post19PF and satisfies either

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			7/30
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

of the conditions in Table 2.

Table 2. Conditions to Be an ECU to Penetration Testing (Post19 and later)

No.	Condition	Example of an	Remarks
		ECU satisfying	
		the condition	
1	An ECU which	AVN, DCM	• Because of a high probability of being
	AP is 20		attacked
			• Refer "Requirements Specification of
			Vulnerability Countermeasure of ECU" for
			the definition of AP
2	An ECU which serves as	Central ECU	· Because of a great impact when an
	the Layer 2 connecting a		attack succeeds
	system with an entry point		
	and a system without an		
	entry point		

1.2.3. Re-Testing due to a design changes (Common for 19PF and Post19PF and later) $^{\Delta_3}$

If all of the following ① to ③ are satisfy at an engineering change, penetration testing does not have to be implemented since it could be judged that vulnerability will not occur. $^{\Delta_2}$

- ① Penetration testing was occurred on an ECU of a previous version(*1) before the relevant engineering change.
 - (*1) An ECU whose node name and supplier are the same may be considered an ECU of the previous version.
- ② No entry point is to be added.
- ③ No cybersecurity related change is to be made on hardware and software controlling entry points. Provide, however, that the following examples do not meet ③ since they fall under a cybersecurity related change.
 - 1. Change of a microcontroller controlling entry points (Provided, however, that change of a memory capacity of the microcontroller and deletion of a peripheral embedded in the microcontroller are changes that are not related to cybersecurity.)
 - 2. Additional of an interface using a communication standard which has not been implemented

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		8/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

before the engineering change to a microcontroller controlling entry points (e.g. addition of Ethernet or USB which will not be an entry point.)

3. Replacement of OS, BSW or cybersecurity related software module (SELinux, TOMOYO Linux, etc.) for a microcontroller controlling entry points

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		9/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.3. Related Documents

Table 3. List of Related Documents issued by TMC^{Δ_2}

Specification No.	Name
SEC-24PF-VCL-	Post19 電子 PF サイバーセキュリティリスク指標定義書(未発行)
RIC-INST-DOC∆4	Post19ePF Cyber Security Risk Criteria Definitions(Unissued) ^{A4}
SEC-ePF-VUL-	ECU 脆弱性対策要求仕様書
ECU-REQ-SPEC	Requirements specification of vulnerability countermeasure for ECU
SEC-ePF-VUL-	ECU 脆弱性対策評価仕様書
ECU-TET-SPEC	Test specification of vulnerability countermeasure for ECU
SEC-ePF-VUL-	共通脆弱性対策要求仕様書
CMN-REQ-SPEC	Requirements Specification of Common Vulnerability Countermeasure
SEC-ePF-TRM-	制御電子 PF サイバーセキュリティ及びプライバシー用語定義書
GUD-PROC	Terms and Definitions related to Cybersecurity and Privacy in E/E Architecture

Table 4. List of Related Official Documents

Abbreviation in	Name/external link					
this document						
SP 800-115 $^{\Delta_2}$	National Institute of Standards and Technology (NIST), U.S. Department of					
	Commerce, "Technical Guide to Information Security Testing and					
	Assessment, "(Sep. 2008),					
	https://nvlpubs.nist.gov/nistpubs/Legacy/SP/nistspecialpublication800-115.pdf					
NHTSA-BP	National Highway Traffic Safety Administration (NHTSA), U.S. Department					
	of Transportation, "Cybersecurity Best Practices for Modern Vehicles," (Oct.					
	2016),					
	https://www.nhtsa.gov/staticfiles/nvs/pdf/812333_CybersecurityForModernVehi					
	<u>cles.pdf</u>					
$ISO18045^{\Delta_2}$	ISO/IEC 18045:2008, "Information technology — Security techniques —					
	Methodology for IT security evaluation," (Aug. 2008)					
$\operatorname{PIP}\operatorname{Act}^{\Delta_2}$	Act on the Protection of Personal Information (Act No. 57 of 2003)					
	http://www.japaneselawtranslation.go.jp/law/detail/?id=2781&vm=04&re=01&n					
	<u>ew=1</u>					
ISO/SAE 21434	ISO/SAE DIS 21434:2020, "Road Vehicles — Cybersecurity engineering,"					
Δ2Δ3	(Feb. 2020)					

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			10/30
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.4. Terms and Definitions

This section explains the terms which have to be defined in detail especially in this document. Note that the terms and definitions which are not defined in this section are according to "Terms and Definitions related to Cybersecurity and Privacy in E/E Architecture" $^{\Delta_3}$

Penetration Testing $^{\Delta_2}$

Security testing in which testers mimic real-word attacks in an attempt to identify ways to circumvent the security features of an application, system, or network.

Penetration testing is made up of 3 phases (planning phase, execution phase, and reporting phase). Implementation of penetration testing refers to implementation of all of the 3 phases.

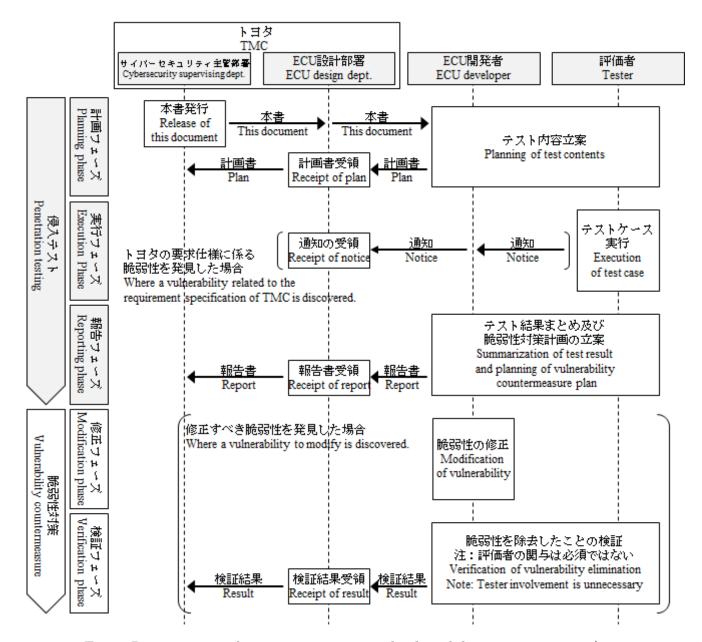


Fig.1. Process image of penetration testing and vulnerability countermeasure $^{\Delta_3}$

Vulnerability Countermeasure ^{A3}

Vulnerability countermeasure is made up of 2 phases (modification phase and verification phase). It is implemented after penetration testing. Implementation of vulnerability countermeasure means to implement both of the 2 phases. If any vulnerabilities to be modified is not discovered by penetration testing, a vulnerability countermeasure does not have to be implemented.

Test case $^{\Delta_2}$

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			12/30
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

A set of tests to be implemented which have been identified and compiled in order to realize a scenario where a threat might be generated. See the image figure below.

A test case is designed at a granularity where implementation of 1 test case can clarify presence/absence of at least one vulnerability.

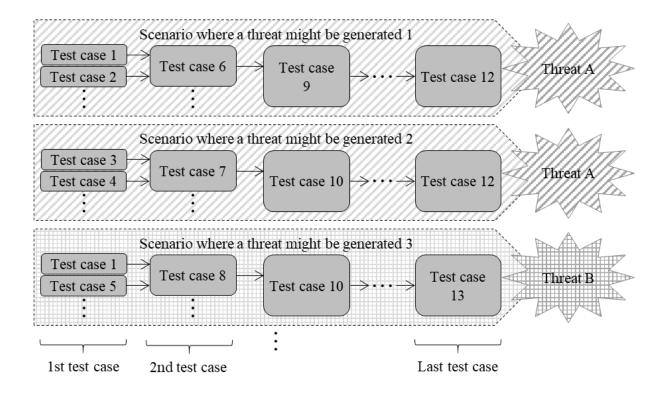


Fig.2. Image of Relationship between Threats and Test cases $^{\Delta_2}$

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		13/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.5. Definitions of Persons Concerned^{$\Delta 2$}

The list of persons concerned and their roles in penetration testing for ECU are indicated below.

Table 5 List of Persons Concerned and their Roles

Persons concerned	Role					
TMC security supervising dept.	Develops security measures for electronics PF to secure cybersecurity of a					
(46F4G)	road vehicle at TMC. Conducts the following activities.					
	> Defines the allocation condition of this document					
	> Releases this document					
TMC ECU design dept.	Designs an ECU installing the security features for electronics PF at TMC.					
	Conducts the following activities.					
	> Allocates this document to an ECU					
	> Stores the plan and the report as a part of development documents					
ECU developer	Is a member of an ECU development team and implements penetration					
	testing in cooperation with the tester. Conducts the following activities.					
	➤ Implements the planning and reporting phases					
	(Is not allowed to implement the execution phase)					
	> Submits the plan and the report to TMC ECU design dept.					
Tester	Implements penetration testing in cooperation with the ECU developer.					
	Conducts the following activities.					
	> Implements all of the planning, execution, and reporting phases					

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		14/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

1.6. Preconditions $^{\Delta_3}$

It is preconditions in this document that ECU developers and testers perform the items of table 6 properly.

Table 6. Preconditions

No.	Classificat	Preconditions	Remarks
	ion		
1	Tool	The tools which is used aremanaged according to the	ISO21434 subsection
		rule related to tool provided by the affiliated	5.4.7 Tool Management
		department.	
2	Vulnerabil	The discovered vulnerabilities are managed according	ISO2143 subsection 4
	ity	to the rule related to vulnerability provided by the	7.6Vulnerability
		affiliated department.	Management
3	Evidence	The evidences are managed according to the rule	ISO2143 subsection 4
		related to information security management provided	5.4.8, 5.4.8 Information
		by the affiliated department.	Security Management,
			ISO21434 subsection
			10.5[WP-10-06] in Work
			Products

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		15/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

2. Requirements

2.1. Requirements for Penetration Testing

【要件番号: VULEPN_00001】 ^{Δ3}

An ECU which satisfies the application conditions of penetration testing shall be implemented the penetration testing according to the requirements in Table 7.

Table 7. Requirements for Penetration Testing

No.	Classification	Requirements	Remarks
1	Implementation	The implementation timing shall be decided based on the	The assumed testing
	timing	following conditions.	targets are an ECU for the
		1. (Required (1)) Penetration testing shall be completed before	system study and
		delivery of a CV production. $^{\Delta2}$	subsequent ECUs.
		2. (Required (2)) A vulnerability discovered in penetration	
		testing shall be able to be corrected before transfer to pilot	
		production $^{\Delta 2}$.	
		3. (Recommended) An ECU configured based on a	
		specification as close as possible to a mass-produced	
		production shall be able to be tested.	

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			16/30
Application: ECU of In-Ve	hicle Network	No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Ways to The ECU developer and the tester shall implement the following The planning and reporting proceed with^{∆2} 3 phases. phases correspond to the Planning phase: The ECU developer and the tester shall same terms in SP 800-11, plan the test contents in accordance with this document and respectively. The prepare a plan. Before the execution phase, they shall execution phase includes the detection and attack prepare for constructing a test environment. Execution phase: The testers shall construct the test phases in SP 800-115. environment and implement test cases in accordance with the plan. Reporting phase: The ECU developer and the tester shall summarize the test result, develop a vulnerability countermeasure plan, and prepare a report. ECU design dept. ECU developer supervising dept. This document This documen Planni phase of plan Execution of test cas phase Report ing phase planning of vulnerability countermeasure plan Receipt Report Image on Ways to Proceed with Penetration Testing Target ECU 3 An ECU implemented based on a specification equivalent to Security measures equal to Δ2 that of a mass-produced production shall be tested. If it is not those for a mass-produced possible to achieve equal implementation due to a compelling production shall be reason, the specification difference from that of the massenabled also for a produced production and the reason for difference shall be privileged function (test described in the evidence. access port, etc.) See the countermeasure requirements VULCMN_00400 and VULCMN_02500 Δ4in Requirements Specification of Common Vulnerability Countermeasure. 4 Target 1. A function for which a threat identified in threat analysis

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			17/30
Application: ECU of In-Vel	hicle Network	No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

	functions	shall be tested. $^{\Delta 2}$	
		2. (In the case where penetration testing is to be implemented	
		at the time of engineering change), testing may be limited	
		to the functions to be affected by the engineering change as	
		long as penetration testing was conducted for an ECU of a	
		previous version (*1) before the engineering change. $^{\Delta 2}$	
		(*1) An ECU whose node name and supplier are the same may	
		be considered an ECU of the previous version.	
5	Implementation	1. The tester shall not be a member of the ECU development	This is because Section
	organization $^{\Delta 2}$	team. ^{Δ2}	6.6.2 of NHTSA-BP
		2. The testers shall include at least one person who has adequate	specifies as follows: "The
		capability on cybersecurity testing (*2). ^{Δ2}	automotive industry
		3. Testing may be outsourced to an external organization ^{$\Delta 1$}	should consider extensive
			product cybersecurity
		(*2) The tester shall have work experience as cybersecurity	testing to include using
		professional for at least 5 years (university graduate requires 4-	penetration tests. These
		year experience (exempted from 1-year experience)) and have	tests should include stages
		carried out similar testing in the past 3 years (*3).	that deploy qualified
			testers who have not been
		(*3) A similar test means penetration testing for an embedded	part of the development
		system related to a technology used in the target ECU. ^{Δ2}	team, and who are highly
			incentivized to identify
			vulnerabilities."
			The condition on the years
			of work experience is
			quoted from the CISSP
			certification condition.
6	Information	The ECU developer shall provide the information and	· Appendix 2. Examples of
	and equipment	equipment that falls under the following conditions to the	Information and
	to be	testers. Note that if TMC's permission is required for	Equipment may be
	provided $^{\Delta 2}$	provision of the tester, permission shall be obtained before	referred to.
		provision.	• A realistic period of time
		1. Information/equipment needed for operating the target	is estimated to be approx.
		normally	a half year based on the
		2. Information/equipment which can be obtained in the	calculation method of the

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			18/30
Application: ECU of In-Vel	hicle Network	No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

		market after shipment of the production	attacking ability.
		3. Information/equipment for which the tester proved the	• The tester shall explain
		evidence that the information/equipment is effective for	the usage to the ECU
		reducing testing time and the information/equipment can be	
		obtained by an attacker within a realistic time period.	-
7	Test contents	Test contents shall be planned according to the following order	• Appendix 1. Example of
		in the planning phase. $^{\Delta 2}$	Test Cases may be referred
		1. Provision of vulnerability analysis result by the	to for examining the
		development team: The ECU developer shall provide the	necessity of outsourcing to
		result of vulnerability analysis conducted in development	an external organization.
		of the target ECU to the tester. $^{\Delta 2}$	• The explanation in
		2. Threat analysis: The tester shall conduct threat analysis	Appendix 3. Principle of
		from the attacker's viewpoint based on the information on	Planning of Test Contents
		the target ECU provided by the ECU developer. $^{\Delta2}$	regarding the procedure
		3. Scenario study: The tester shall examine a scenario in	may be referred to for
		which the threat identified in threat analysis in 2. could	planning test contents. ^{Δ2}
		occur within the feasible range in terms of the tester's	
		capability. ^{∆2}	
		4. Preparation of test cases: The tester shall prepare test cases	
		so that all the examined scenarios can be implemented. $^{\Delta2}$	
8	Prior	If ECU developers execute behaviors which satisfy at least	As in the left, it is
	agreement/	one of the following criteria, ECU developers shall ask the	recommended that ECU
	$permission^{\Delta_3}$	ECU design department in Toyota about it and then get the	developers and testers
		permission.	agree with handling of a
		1. Provide the information and tools which need the	provided tool and etc. in
		permission from Toyota to testers in advance.	advance.
		2. Irreversible operation or destruction of the tools owned	
		by Toyota.	
		3. Connect to network or server which ECU developer or	
		tester don't possess $^{\Delta4}$	
9	Evidence ^{Δ2}	1. A (documented) plan shall be prepared in the planning	This is because Section
		phase. The plan shall be submitted to the TMC ECU	6.6.2 of NHTSA-BP
		design dept. before start of the execution phase. $^{\Delta 2}$	stipulates "All reports
		2. A report shall be prepared in the reporting phase. The	which result from these
		report shall be submitted to the TMC ECU design dept.	penetration tests should be
		before delivery of a CV product. ^{Δ2}	maintained as part of the
		3. At least, all itemas in Table 8 shall be described in the plan	body of internal

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			19/30
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

			and the report. $^{\Delta2\Delta_3}$	documentation associated
			However, the testers shall create the contens of No.6 "test	with the cybersecurity
			contents" and No.7 "discovered vulnerabilities" in items of	approach. Documentation
			Table 8. ECU developers shall not modify the contents	should identify the testers,
			without the permission of testers. $^{\Delta_3}$	
		,		their qualifications, and their recommendations.
		4.	Care shall be taken so that the information to be described	
			in the evidence does not correspond to "personal	These penetration testing
			information" in PIP Act.	reports should also
				document the disposition
				of detected cybersecurity
				vulnerabilities. If
				vulnerability is fixed, the
				details of the fix need to be
				documented."
10	Other	1.	Be ready to reply to an inquiry on the testing from TMC.	Regarding (1), it is
			The test contents and the operation log (e.g., terminal log)	assumed that it will take at
			shall be stored for at least 6 months after submission of the	most half a year to
			report.	determine the vulnerability
		2.	In the event where a vulnerability related to the requirement	modification policies.
			specification of TMC is discovered, the TMC ECU design	
			dept. shall be informed of the vulnerability as soon as	
			possible after the discovery.	
		3.	The procedure for reproducing the discovered vulnerability	
			shall be indicated at a granularity with which the ECU	
			developer can reproduce. $^{\Delta 2}$	
		4.	Severity of the discovered vulnerability shall be assessed.	
			CVSS v3 shall be used as severity assessment criteria. If	
			other assessment criteria is to be used together with CVSS	
			v3, the specification of the assessment criteria shall be	
			indicated. $^{\Delta 2}$	

【要件番号: VULEPN_00002】 ^{Δ3}

The items in table 8 shall be described in the evidence when testers perform penetration testing for an ECU.

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		20/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Table 8 Items to Be Described in Evidecne $^{\Delta 2}$

No.	Item		Description contents	Necessity	Necessity for
				for	description
				description	in Report
				in Plan	
1	Implementation timing	>	The schedule of the planning, execution, and	Required	Required
			reporting phases		
2	Target ECU > The information with which the hardware			Required	Required
			the version No. of software of the target ECU		
			can be identified		
			(e.g., name, part No., software part No.)		
		>	Presence/absence of a difference between the		
			target ECU and the mass-produced product		
			and the list of the differences if there are any.		
3	Target function	A	If the functions subject to testing at	Required	Required
			engineering change are to be limited, a list of		
			these functions shall be described.		
4	Implementation	>	The organization of the ECU developers and	Required	Required
	organization		the testers		
			(e.g., the number of persons, division of roles)		
		>	The person responsible and the contact person		
			in ECU development		
		>	The organization the testers belong to and the		
			reason for their selection		
		>	The information indicating expertise of the		
			testers		
			(e.g., work experience, capability they		
			possess)		
5	Information/equipment	A	A list of the information provided from the	Required	Required
	to be provided		ECU developer to the tester		
		>	A list of the equipment provided from the ECU		
			developer to the tester		
6	Test contents	A	A list of the threats $^{\Delta_3}$	Required	Required
		>	A list of the test cases	(※4)	(※4)
			• Name of the test case		

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		21/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

No.	Item	Description contents	Necessity for description	Necessity for description in Report
			in Plan	
		> Details of the test case		
		• The threat you want to realize via the		
		test case		
		• The assets damaged by threats and its		
		cybersecurity characteristics $^{\Delta_3}$		
		• The target entrance of attack in the test case		
		• The information of tools to be used for		
		executing the test case (e.g Name,		
		Version, Configuration to reproduce the		
		test case) A3		
		Configuration of the test environment for		
		excuting the test case		
		> Presence/absence of a difference between		
		the test environment and the actual		
		environment $(\%5)^{-\Delta_3}$, and then the		
		list of the differences if there are any		
		(% 5) The actual environment indicates		
		the state that the target ECU is assembled		
		into a vehicle. ^Δ 3		
		List of the test cases	-	Required
		Whether or not each test case was executed		(※4)
		in the execution phase shall be described.		
		Whether or not a vulnerability was		
		discovered shall be described.		
		> If there is a test case which was not executed		
		in the execution phase, the reason for not		
	<u> </u>	executing it shall be described.		D
7	Discovered	List of the discovered vulnerabilities	-	Required
	vulnerabilities	Details of the discovered vulnerabilities		(※4)
		• The assets damaged by threats and the		
		cybersecurity characteristics ^{∆3}		
		• Severity of the vulnerability and its		

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		22/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

No.	Item	Description contents	Necessity	Necessity for
			for	description
			description	in Report
			in Plan	
		derivation process		
		• Procedure for reproducing the vulnerability		
8	Vulnerability	> Countermeasure plan against the discovered	-	Required
	countermeasure plan	vulnerability		(※4)
		• The method for modifying the vulnerability to be		
		modified and its schedule		
		• The reason that a vulnerability was judged not to		
		be modified		

 $^{(\}divideontimes 4\,)\ \ \text{Testers shall create}.\ \text{ECU developers shall not change the contens without consent of testers}.$

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		23/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

2.2. Requirements of Vulnerability countermeasure $^{\Delta_3}$

【要件番号: VULEPN_00003】

The Vulnerability countermeasure shall be implemented in accordance with the requirements of table 9 if the vulnerabilities which need to be fixed have discovered by penetration testing for an ECU.

Table 9. Requirements of vulnerability countermeasure

No.	Classificati	Requirement	Remarks
	on		
1	Process	 ECU developers and testers shall implement the following 2 phases. Modification phase: ECU developers shall modify in accordance with the vulnerability countermeasure plan in the report. Verification phase: ECU developers and testers shall verify that the vulnerabilities are fixed. The involvement of testers is voluntary 	 Verification phase may be substituted by reproducting an execution phase and a report phase. Testing is not required as a means of verification because it is necessary to be shown that the vulnerabilities are fixed.
2	Evidence	 ECU developers and testers shall create verification results in the verification phase. The verification results shall be submitted to ECU design department in Toyota by the delivery of prototype which the vulunabilites are fixed. The evidence which vulnerabilities have been corrected shall be described in the verification results. 	

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		24/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Appendix 1. Examples of Test Cases $^{\Delta 2}$

As a reference material for studying the necessity for outsourcing to an external organization, examples of penetration test cases are presented. $^{\Delta2}$

The following table is an extraction of a part of the penetration test cases for an ECU planned by a security firm. This table includes test cases that do not have to be executed for some ECUs because a protocol is not implemented in those ECUs. $^{\Delta 2}$

Table 8. Examples of Test Cases $^{\Delta 1 \Delta 2}$

Classification	No.	Name of test case
Remo	1	Detect ECU backdoor via diagnostic function
Remote Access & Persistence	2	Non-volatile memory access via diagnostic function
cess d	3	Non-volatile memory access of key via diagnostic function
& Per	4	Detect and enable test mode via diagnostic function
sisten	5	Detect and enable demo mode via diagnostic function
ce	6	Detect and enable test mode via reverse engineering
	7	Detect and enable demo mode via reverse engineering
	8	Firmware modification via OSS vulnerabilities
	9	Non-volatile memory key writing via diagnostic function
	10	Non-volatile memory writing via diagnostic function
		Firmware modification via diagnostic function
		Non-volatile memory burnout via diagnostic function
	13	Downgrade firmware via diagnostic function
H	14	Detect ECU backdoor by reverse engineering
Execution	15	Command injection via diagnostic function
tion	16	Command injection via CAN messages
	17	Command injection via OSS vulnerabilities
	18	Security measure analysis under firmware image
	19	CAN replay
	20	Interference of intrusion detection via CAN message flooding
	21	DoS via bulk transmission of error messages
	22	Illegal diagnostic messages

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU		25/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network		No.	SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Classification	No.	Name of test case						
Exec	23	System disruption via a command disguised as being from the driver						
Execution	24	Diagnostic messages flood						
	25	Interference of intrusion detection via diagnostic message flooding						
	26	Diagnostic privilege escalation						
	27	YN flooding						
	28	Buffer overflow via CAN messages						
	29	Buffer overflow via diagnostic messages						
	30	Buffer overflow injection via OSS vulnerabilities						
	31	Tigger high priority diagnostic messages outside of allowed conditions						
	32	Using the ECU a mITM						
	33	Using the ECU as a relay						
	34	Boot bypass						
Delivery	35	Security feature analysis of intrusion port (Setting of plug-and-play function)						
/ery	36	Lack of data intrusion port monitoring						
	37	Sensitive information in query						
	38	HTTP GET with sensitive information						
	39	Proper network segmentation						
	40	Extract firmware from removable storage medium						
	41	Modify removable storage medium						
Deve	42	Keys should not be shared between devices						
Development	43	Unauthorized activation of web services						
ent	44	ARP poisoning						
	45	DoS flooding						
	46	Replay captured diagnostic messages						
	47	Data exfiltration via low risk diagnostic function						
	48	TCP hijacking						
	49	DoS via TCPKill						

ECU	Test specification of Penetration Testing for ECU			26/30
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

Classification	No.	Name of test case						
Deve	50	Memory information leakage via padding of communication frame						
Development	51	CAN Message filtering						
ent	Boot loader not validating the firmware properly							
Disc	53	Passive discovery of exposed network and services (communication capture)						
Discovery	54	Scan via vulnerability scanner						
	55	Network stress test						
	56	Data fuzzing of telnet, TFTP, SSH, and diagnostic function						
	57	Protocol fuzzing of telnet, TFTP, SSH, and diagnostic function						
	58	Analysis of response performance via measurement of communication frame						
		processing time						
	59	ackup stores sensitive data						
	60	ctive discovery of exposed network and services (port scan)						
	61	Outdated kernel						
	62	Outdated libraries and applications						
	63	Removable storage medium						
	64	Hardware debugging port						
	65	Common credential usage of SSH, TFTP, FTP, and telnet						
	66	Analysis of access control error messages						
	Factory reset uses default credentials							
	68	Activate unexpected state via diagnostic function						
	69	Activate unexpected State via communication						
	70	Discover unexpected State via reverse engineering						

ECU	Test specification	of Pe	27/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Appendix 2. Examples of Information and Equipment $^{\Delta 2}$

Examples of the information and the equipment used for implementing penetration testing for an ECU are indicated in Table 9.

Information and equipment related to an ECU under development cannot be obtained in the field yet. Therefore, the ECU developer provides the tester with the information and equipment in Table 9 so that the tester can mimic attacks in the field.

Note that this table is a reference material and information or equipment does not have to be provided if there is a compelling reason for not doing so. In addition, this table does not prevent information/equipment not listed in the table from being provided.

Table 9 Examples of Information and Equipment

	Table 7 Examples of information and Equipment						
No.	Description		Example of information		Example of equipment		
1	Information/equipment	>	Pin assignment of a connector	>	Prototype ECU		
	needed for operating	>	Procedures for starting up and resetting	>	Wiring harness		
	the target ECU		the ECU	>	External part (e.g., antenna)		
	normally						
2	Information/equipment	>	Information described in the owner's	>	Diagnostics tool		
	available in the field		manual				
	after the product is	>	Information described in the service				
	shipped		manual				
		>	Topology of the target ECU in the in-				
			vehicle network				
		>	Input/output interfaces the target ECU				
			has, their standards (e.g., CAN, USB,				
			100BASE-TX), and the set values (e.g.,				
			MAC address, IP address, VLAN ID)				
		>	The model No., manufacturer, data sheet,				
			and manual of the semiconductor package				
			installed in the target ECU (e.g.,				
			microcontroller, external memory for the				
			microcontroller)				
			Provided, however, that information				
			whose obtainment is restricted such as the				
			manual for Hardware Security Module				
			(HSM) is excluded.				
3	Information/equipment	[On	ly in the case where the tester proved the	[Or	aly in the case where the tester		
	for which the tester	evic	dence that information/equipment can be	pro	ved the evidence that		
	proved the evidence	obta	ained by an attacker within a realistic time	info	ormation/equipment can be		

ECU	Test specification	of Pe	28/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

that the	peri	od]	obta	ained by an attacker within a
information/equipment	>	List of signals transmitted and received by	real	istic time period]
is effective for		the ECU on the in-vehicle network	>	Reprogramming tool
reducing testing time	>	Open source being used and its version		
and the	> Encrypted reprograming firmware			
information/equipment		Execution code (binary)		
can be obtained by an				
attacker within a				
realistic time period				

ECU	Test specification	of Pe	29/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	.00-04-a

Appendix 3. Concept of Test Contents Planning $^{\Delta 2}$

This reference material will explain the procedure for planning test contents.

This procedure for planning test contents has been prepared referring to a draft of ISO21434 which is being developed at the time of release of this document based on the policy that the procedure is associated with the information security development process. The image is indicated in the figure below and the critical points will be explained.

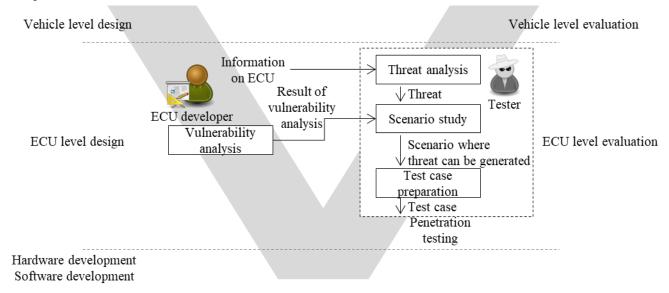


Fig. 3 Image of Concept of Test Contents Planning

1. Provision of vulnerability analysis result by the development team

- Penetration testing is included in the "ECC level evaluation" process in the information security development process of a vehicle. Accordingly, this testing can be positioned on the V-shaped model in the relationship of being paired with "vulnerability analysis" in the "ECU level design" process. On the basis of this relationship, the result of vulnerability analysis by the development team shall be used for planning the test contents, which aims at the following.
 - Of the vulnerabilities judged to be responded in vulnerability analysis, the vulnerabilities judged to be confirmed on the actual machine that a response has been made shall be confirmed in penetration testing.
 - Preparation of a test case which there is not much need for a tester to implement shall be avoided. Note that test cases of which there is not much need for implementation include the following examples.
 - Example 1: A test case for a vulnerability known to the ECU developer
 - Example 2: A test case for a vulnerability accepted by the ECU developer because of its low risk
- Methodology of vulnerability analysis is not within the scope of this document. Yet, the result of either of the following example methodologies may be used as a vulnerability analysis result.
 - Vulnerability check according to "Requirements Specification of Vulnerability Countermeasure of Invehicle Information Security"
 - Implementation of vulnerability analysis by an expert

ECU	Test specification	of Pe	30/30	
Application: ECU of In-Vehicle Network			SEC-ePF-VUL-EPN-TST-SPEC-a	00-04-a

> It is not anticipated that the development team conducts a new vulnerability analysis in order only to meet the requirements of this document.

2. Threat analysis

- Penetration testing should include the result of analysis conducted from the attacker's viewpoint that is the independent standpoint that is not the ECU development team. This aims at discovering, with penetration testing, a threat the ECU development team failed to notice.
- > This document does not specify the detailed procedure of threat analysis. It is preferable that the tester try to reduce their work amount using the experience in the previous penetration testing.

3. Scenario study

- > This document does not specify the detailed procedure of scenario study.
- ➤ "Within the feasible range in terms of the tester's capability" because TMC security supervising dept. believe that the validity of the test contents in penetration testing is based on the tester's capability.
- The items to be described in the evidence in Table 7 do not include the result of scenario study, which is for the purpose of reducing the work amount of documentation of the scenario.

4. Preparation of test case

- This document does not specify the detailed procedure of preparation of a test case.
- This document stipulates that a (documented) plan be prepared before the execution phase so that the tester does not fail to develop a plan. Developing a plan aims at the following.
 - Prepare a test case intensively for a critical portion of the ECU and prioritize the test cases in order to conduct effective testing in the limited time.
 - Store the evidence of penetration testing as a part of the development documents. Therefore, on top of a test case where a vulnerability was discovered, a test case which was implemented but in which no vulnerability was discovered shall also be recorded in the evidence.
- Compared to a tester, it is generally assumed that a person concerned other than the tester has a lower cybersecurity related capability. So, it is difficult to confirm that the test case prepared by a tester is sufficient. On the other hand, it would be easy for an ECU developer familiar with the ECU features to confirm that the target entrances of attack have been fully identified. Accordingly, it is recommended that the ECU developer should confirm that there is no shortage in test cases by interviewing the tester about the background of preparation of test cases.